

阪南市LPP 2025年度活動報告



中山穂香、端野莉子、廣瀬碧、三澤琴未、辻本楽菜、戸田風咲、中野優希、中山扇寿、福本七月

○阪南市の概要・活動目的

阪南市は大阪府の最南端に位置し、海と山に囲まれた自然豊かなまちで、関西国際空港からのアクセスも良いのが特長です。やぐら祭りや漁港の風景、海辺の散策路など、日常の中に“地域らしさ”を感じられる観光資源が点在しています。大都市近郊でありながら、暮らしと観光がゆるやかにつながるフィールドとして、体験型・交流型観光の可能性を秘めた地域です。

しかしながら、それらの良さを地域内外に十分に発信できておらず、認知度の低さが課題となっています。また、日本各地の地方が抱える人口減少や少子高齢化、若年層の転出などの課題において、阪南市も例外ではありません。そこで私たちは、まちあるきやイベントへの参加を通して地域の方と積極的にかかわるとともに、阪南市の魅力を掘り起こす活動を行いました。また、それらの活動をSNSを通して発信することで幅広い層に阪南市の魅力をPRし、認知度向上を目指しました。



○地域でのイベント

・やぐらパレード

10月5日(日)に、阪南市が開催した

「やぐらパレード」に参加させていただき、主に写真や動画撮影を行いました。各町から20基のやぐらが阪南市役所前に集結し、迫力満点の曳行と熱気あふれる雰囲気、阪南市を大きく盛り上げていました。わたしたちはやぐらの勇壮な動きや祭囃子などを中心に撮影し、阪南市の秋祭りの魅力を記録しました。間近で見るやぐらの迫力と、地域の皆さんが一体となって作り上げるお祭りの力を強く感じる1日となりました。

・牡蠣フェスティバル

1月10日(土)に(一社)阪南市観光協会が主催する牡蠣フェスに参加しました。そこでは参加者アンケートのお手伝いをさせていただきました。イベント中に、アンケートへの呼びかけをしたことで、実際に参加者の皆さんの声が聞けたり、反応を見ることができてとても良い機会になりました。多くの出店やステージ発表などで大盛り上がりの牡蠣フェスに参加して改めて阪南市の人々の温かさに触れることができました。



○まちあるき

阪南市の魅力を発信するため何度かまちあるきを実施しました。

・匠のippin

商工会「匠のippin」で、阪南市の事業者が手がける特産品を見学しました。

・水なす

グループで阪南市の特産品である水なすの試食会を行い、その味や魅力について理解を深めました。

・月化粧ファクトリー

大阪のお土産の定番「みるく饅頭 月化粧」の製造工程を無料で見学し、焼きたての試食も楽しめます！

・せんなん里海公園

10月には海ほたる鑑賞会、1月には泉州阪南牡蠣フェスティバルや葛城修験スイーツフェスティバルに参加させて頂きました！阪南市の特産物について詳しく知ることができました。



○動画制作&SNS発信

Instagramに、まちあるきで訪れたスポットや学生の活動の様子を紹介する動画を投稿しました。阪南市の魅力を多くの人に伝えたいという思いを持ち、投稿ごとに役割を分担しながら、動画制作や文章の作成に取り組みました。特にリール動画に力を入れ、阪南市の様子を動画を通してお届けできるようにしました。



@HANNAN_CITY_LPP

○活動を振り返って

阪南市LPPの今年度の活動は、まち歩きで訪れた阪南市の魅力的なスポットやイベントの様子を、Instagramにてリール動画を中心に発信しました。12月から投稿を本格化させ、約1ヶ月半で本アカウントの閲覧数は20,000回を超えました。前年度に引き続き、今年度も活動できたのは阪南市の市役所の方々、事業者の方々、そして応援してくださった皆様のおかげです。本当にありがとうございました。